

下野市小中一貫教育 第Ⅴ期（小中一貫教育共創期） 推進計画（令和8-12年度） ～輝く未来、あふれる笑顔～



下野市では、小・中学校間の円滑な接続と、義務教育9年間を見通した指導の充実を目指し、平成31年度から小中一貫教育を導入してきました。小中一貫教育は、「第三次下野市総合計画前期計画（令和8～12年度）」における基本施策「将来を担う人づくり」の柱の一つとしても位置付けられています。※これまでの成果を基に、令和8年度からの5年間を「第Ⅴ期（小中一貫教育共創期）」と位置付け、学校・家庭・地域が連携した下野市ならではの小中一貫教育を推進し、ふるさとに愛情と誇りを持ち、ともに未来を切り拓く子どもを育てます。

下野市の小中一貫教育

下野市の中学校区

南河内小中学校区 南河内小中学校 施設一体型義務教育学校	南河内第二中学校区 南河内第二中学校 緑小学校 施設分離型 祇園小学校	石橋中学校区 石橋小学校 石橋中学校 施設分離型 古山小学校 細谷小学校 石橋北小学校	国分寺中学校区 施設隣接型 国分寺中学校 施設分離型 国分寺小学校 国分寺東小学校
---	--	--	---

下野市小中一貫教育の方針

- ◇9年間の学びをつなぎ、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成を保証します。
- ◇9年間の一貫した児童生徒理解により、子どもたちが安心して学べる場を提供します。
- ◇郷土への理解を深め、ふるさとを愛する心を育てる教育活動を推進します。
- ◇学校・家庭・地域が一体となって、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を推進します。

学校教育における重点

- ①連続性のある教育活動の推進と教職員間の連携・協働
- ②外国語・国際教育の推進
- ③ふるさと学習の推進
- ④家庭教育の推進と地域との連携

9年間の学びのステージ

義務教育9年間を一体的に捉え、児童生徒の発達の段階を考慮し、ステージの区切りを4-3-2として、各ステージの到達目標を設定しています。

小1・小2・小3・小4 義1・義2・義3・義4 学びの基礎をつくる 繰り返し学習や具体的な操作活動を通して、義務教育で学ぶ基礎的・基本的な力を育成します。	小5・小6・中1 義5・義6・義7 学びを広げる 学んだ基礎を基に、論理的な思考力や物事を適切に判断する力を育成します。	中2・中3 義8・義9 学びを深める 学習した内容を自分の生き方と関連付けて考え、社会の中でよりよく生きる力を育成します。
---	--	---

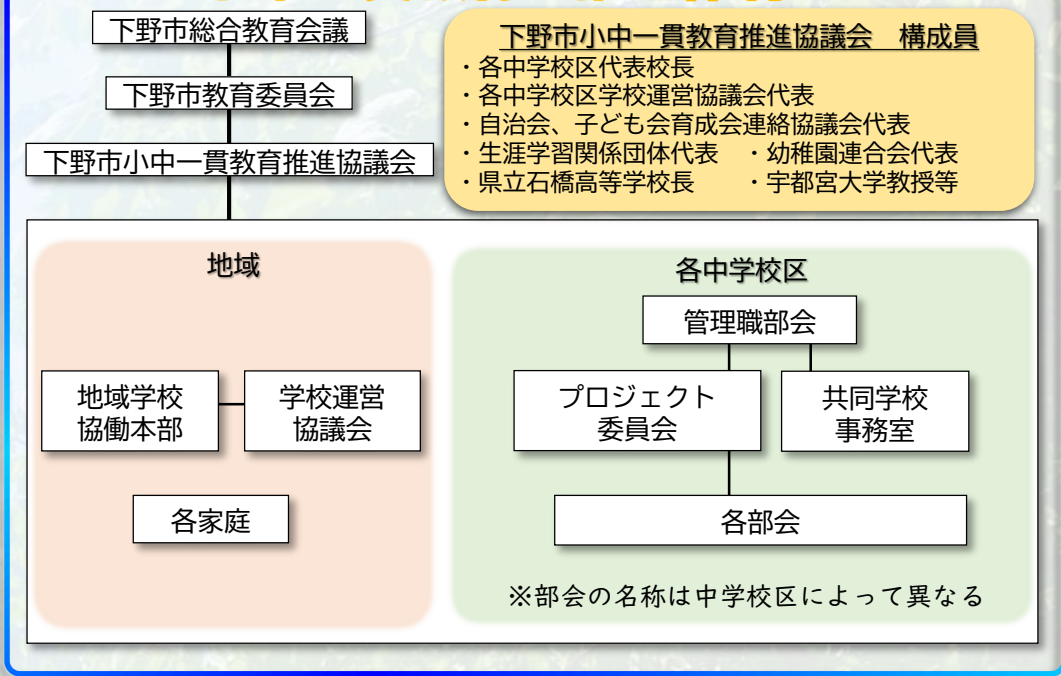
中学校区
「目指す子ども像」の設定



小中一貫教育推進の視点

- A 教育課程の工夫
- B 教育活動の連続性の確保
- C 教職員間の連携・協働
- D 家庭・地域との連携・協力

小中一貫教育の推進体制



第Ⅴ期における取組

第Ⅴ期の位置付け

位置付け	第Ⅰ期 (H20-27) 小中連携教育推進期	第Ⅱ期 (H28-30) 小中一貫教育移行期	第Ⅲ期 (H31-R3) 小中一貫教育導入期	第Ⅳ期 (R4-R7) 小中一貫教育推進期	第Ⅴ期 (R8-R12) 小中一貫教育共創期
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 「子ども未来プロジェクト」の導入 小中間の交流活動の導入 小中連携教育コーディネーターの位置付け 小中合同研修会の開始 学校評議員制度の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 「子ども未来プロジェクト」の推進 交流活動の推進 小中一貫教育プロジェクト委員会の設置 「小中一貫の日」の導入 学校運営協議会制度の導入 学校支援ボランティア等による学校支援 	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある交流活動の推進 (小小交流も含む) 実践課題に基づく研究の開始 「小中一貫の日」の計画的実施 乗り入れ授業の導入 外国語教育の推進 ふるさと学習の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した交流活動の推進 各中学校区成果指標の設定 乗り入れ授業の推進 ふるさと学習の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 「しもつけエコスマイル」の導入 地域連携部会を核とした交流活動の推進 成果指標に基づく実践研究のPDCAサイクルの構築 地域学校協働本部と学校運営協議会との連携 「タイピングカ」の育成

しもつけエコスマイル

「未来の笑顔を守るため 今できることからはじめよう」をスローガンに、学校・家庭・地域が一体となって、SDGs目標12「つくる責任 つかう責任」の達成に向けた取組を行う。

◇中学校区での「しもつけクリーンday」の実施
・地域のボランティア等と連携し、各中学校区の計画に基づき、小中学生が共に地域の清掃活動等に取り組む。

◇学校給食における「しもつけいっぱいday」の実施
・毎月19日前後に市内産・県産の食材を使用した献立を位置付け、地産地消の理解促進を図る。

◇家庭・地域と連携したリユースバンクの設置
・PTAや地域の関係団体の協力を得て、リユースバンクを設置する。

そのほか、各中学校区の計画に基づいた取組を行う。

「タイピングカ」の育成

◇「タイピングカ」とは…
情報化が急速に進む中、児童生徒への情報活用能力の抜本的向上が求められている。情報活用能力における基本操作のうち、市内全学校で共通して育成を図る力を下野市では「タイピングカ」と設定する。

◇「タイピングカ」育成の方針
以下、2つの入力方法を中心に「タイピングカ」の育成に向けた指導を行う。各教科等における資質・能力の育成を念頭に置き、教育課程への位置付けを工夫する。
・視写入力：指定された内容を入力する。
・思考入力：課題に対する思考とキーボード入力を同時に行う。

※市で定めた達成目標に基づき、児童生徒の達成状況を把握し、指導方法等の改善を図る。

推進指標

評価項目	目標値:R12
◆将来の夢や目標を持っていますか	小:94 中:93
◆地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思いませんか	小:91 中:83
◇中学校区における成果指標を基に「目指す子ども像」を具現化した姿を共通理解した上で、実践研究課題や所属する部会の具体策に取り組んでいる	3.52
◇外国語教育を推進する上で、自校の学習到達目標を基に児童生徒の達成状況を確認し、指導の改善・充実に努めている	3.23
◇体験活動や総合的な学習の時間等を通して、下野市の歴史、文化財、自然、特産品などについて学ぶ機会を設けるなど、関係機関や地域の方々と連携を図りながらふるさと学習を実施している	3.49
◇保護者や地域の方々は、中学校区で進めている小中一貫教育について理解していると感じている。	3.11

◆全国学力・学習状況調査【肯定的回答の割合】
◇下野市小中一貫教育推進状況調査(教職員対象)【点数法：4点満点】

スケジュール

ステージ	前期			後期	
	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
各中学校区における取組	組織の決定 研究計画 仮説の設定 部会ごとの実践	組織の決定	組織の決定	組織の決定 研究計画 仮説の設定 部会ごとの実践	組織の決定 第Ⅴ期のまとめ 研究発表
しもつけエコスマイル	計画立案 計画に基づく実践 ・しもつけクリーンday ・しもつけいっぱいday ・その他の取組	中間のまとめ 次年度計画立案	中間のまとめ 後期に向けた検証	計画に基づく実践 ・しもつけクリーンday ・しもつけいっぱいday ・その他の取組	中間のまとめ 次年度計画立案 第Ⅵ期の計画立案
「タイピングカ」の育成	計画立案 計画に基づく実践	達成状況の確認 次年度計画立案	中間のまとめ 後期に向けた検証	計画に基づく実践	達成状況の確認 次年度計画立案 検証・実践のまとめ